

北大合格発表行われる

新北大生それぞれの物語



4月号

<編集・発行>
北海道大学新聞
編集部

<URL>
hokudaishinbun.com
(お問い合わせ・情報提供
もこちらから)

次の発行予定は6月

CONTENTS

- 北大教授に聞く 今冬の寒さなぜ? ……2面
- 医学部 百年記念館新設へ ……2面
- 特集 学内メディアの今昔 ……3・4面
- 部活・サークル紹介 北大祭事務局 ……5面



(左) 発表に駆けつけた部活・サークルの関係者に
胸上げされる合格者

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

発表当日の午前9時、本
学的高等教育推進機構前。
発表当日の午前9時、本
学的高等教育推進機構前。
発表当日の午前9時、本
学的高等教育推進機構前。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

本学の文学部を受験し見事
に現役合格を果たした。合
格発表には母親と共に来て
おり、取材にはとても晴れ
晴れとした表情で応じてく
れた。受験時の手ごたえに
ついて尋ねると、「白紙はな
かった。過去問の時よりは
できた感触はあったが、国
語や世界史は明確な解答が
ない設問もある。当たって
いるか不安で、今の今まで
自信はなかった」と語った。
「今でも実感が湧かない。
(掲示されていたのが)本当
に自分の番号なのかと思っ
たくらい」とYさん。

最後に紹介するのは、札
幌北高校出身の鷺頭さん
だ。「まだ合格した実感が湧
かない」と話す鷺頭さん。今
年度、法学部に現役合格し
た。高校3年生の夏までは
部活動に打ち込み、受験勉
強を本格的に始めたのは部
活の引退後だったという。
塾や予備校には通わず独学
で勉強し、冬休みは連日夜
9時まで友人たちと自習し
た。二次試験では思うよう
な手応えが得られず不安
だったと語るが、合格発表
を無事に終えて安心してい
るようだ。

鷺頭さんが北大を目指す
きっかけとなったのは、
オープンキャンパスでのゼ
ミ体験だ。「法学部で行われ
た著作権関連の授業が面白
かった。家から通いやすい
ことも北大の魅力だった
が、法学を学びたいという
気持ちはそこで芽生えた」と
当時を振り返った。



高等教育推進機構前
には大勢の人が集まった

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。

今年3月7日、北海道大
学構内で本学の平成30年
度入試前期日程の合格者が
発表され、会場にて本紙は
合格者を対象に取材を行っ
た。前期日程においては約
2000名が合格。本大学
の門をくぐった。また、3月
20日には後期日程の合格
発表も行われた。



体育館前に出店するキッチンカー

キッチンカー 継続へ

学生・教職員に人気

館前で出店する。
キッチンカーは学生サー
ビスの向上などを目的に昨
年6月より試験導入され、
ピザやケバブ、ドリンク類
等を提供してきた。試験導
入期間の終了に際し、次年
度の取り扱いについて検討
が進められた。その結果待
ち時間の長さやごみを捨て
る場所、冬の売り上げ低下
など問題はあるものの、一
定の人気があり継続が決
まった。
アンケート調査による
活かした出店が続く。

クラーク会館 改修始まる

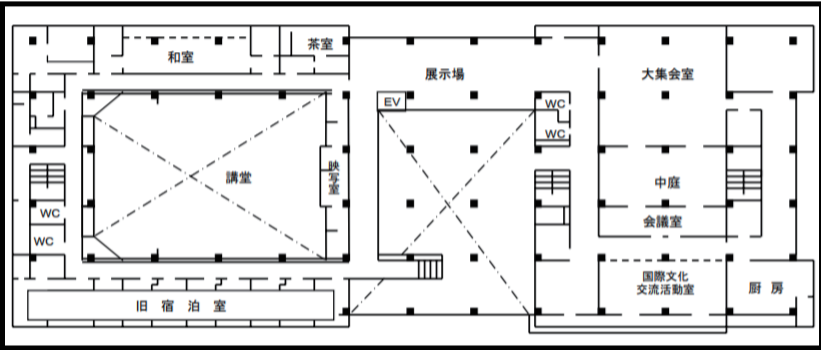
七大戦に向け6月まで

クラーク会館3階における大集会室などの改修工事が今年4月から始まった。本工事では、大集会室(3階)の内装リニューアルと、会議室・国際文化交流活動室(同階)を大集会室に転換する工事が主に行われる。今年59年目を迎える同会館は、これまでも老朽化により部分的に改修が行われてきた。今回の工事は、全国七大学総合体育大会が北海道で開催されることに伴って同会館が使用されるため実施される。夏の大会開催時には2つの大集会室で受



(上) 改修が行われているクラーク会館

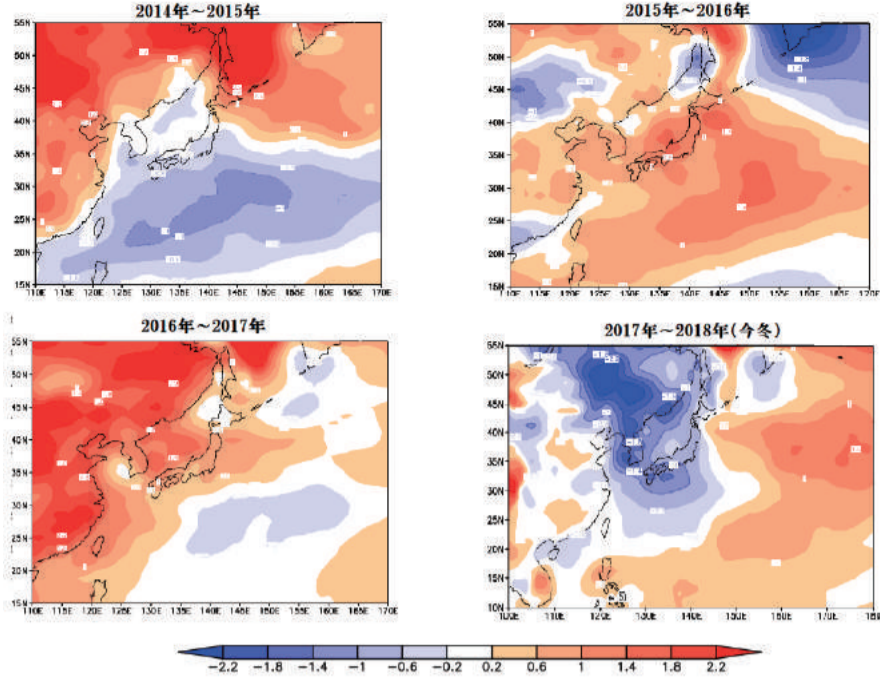
(下) 同会館3階の工事前の図面 (本学HPより)



医学部百年記念館 新設へ
100周年を祝い、2019年に北図書館向かいの医学部敷地内に、北海道大学医学部百年記念館が2019年に新設される。建設予定地では工事前調査がすでに完了しており、今年度中に着工される見込み。

当記念館は医学部創立百周年を祝う事業の一環として建設される。本学医学部は、北海道帝国大学設置から1年後の1919年に設置され、農学部に次ぐ歴史を持つ。当記念館は2階建てで、医学部歴史資料の展示・保管施設や、講演会・学会・会議など多目的に使用できる施設を備える。

建設費用は「北大フロンティア基金」で賄われる。これは2006年に創設された本学の独自基金であり、寄付金で賄われている。寄付者は使途の指定が可能だ。そのため、本事業を支援したい個人・法人は寄附申し込み時にその旨を記す事で支援できる。医学部は2020年度末まで寄附の受付を継続する予定。



(図1) 過去4年間の地上気温(冬)における平年との差

今冬は平年より肌寒い気候が日本各地で続いた。特に西日本では、鳥取県倉吉市で観測史上1位の最低気温を記録するなど平成に入ってから一番の寒さとなった。気象庁の地上気温データによると、今冬における気温は全国的に平年より低く、過去4年間で最も特に平年との差が目立つ。(図1)

本学理学研究院で気象学を専門としている稲津将教授によると、今年の厳冬の原因はジェット気流の動きにあるという。ジェット気流とは上空に存在する強い

空気の流れることで、その北側には寒気(冷たい空気)が位置する。冬季には、日本の上空を南北2つのジェット気流が流れている。これらの気流は蛇行することがあり、今冬は北側のジェット気流がシベリア付近から強い寒気を日本にもたらすような軌道を描いた。さらに、「ラニーニャ現象」と呼ばれる太平洋の海水温変化が発生する事で南側のジェット気流の流れにも影響が生じ、こちらも日本に寒気を引き込んだ。これらの現象を要因として、今シーズンは西日本を中心に厳冬となった。

北大教授に聞く

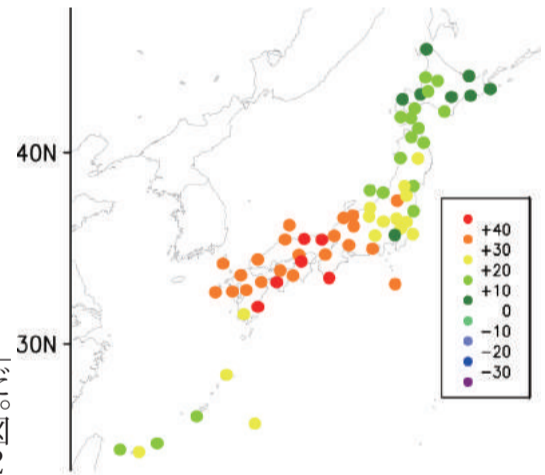
理学研究院・稲津将教授

今冬の寒さ ジェット気流の動きが要因

北海道は 影響受けず

ジェット気流の動きによる厳冬に見舞われる地域が多い一方、北海道は影響を受けず平年並みの気温となった。ジェット気流の蛇行が北海道より西側で顕著であったことや、北海道が「ラニーニャ現象」による影響を受けにくいことが要因

だ。図2は「ラニーニャ現象」とそれと対をなす「エルニーニョ現象」が冬季にどれだけ地上気温へ影響を与えるかについての相関を示している。北海道などの北



(図2) 「ラニーニャ現象」・「エルニーニョ現象」と地上気温(冬季)の相関

新聞広告 募集中

メールアドレスへお気軽にお問合せ下さい。

新入部員 募集中

説明会 4/11(水) @E205
 4/18(水) @E203
 4/25(水) @E204 全て18:30より

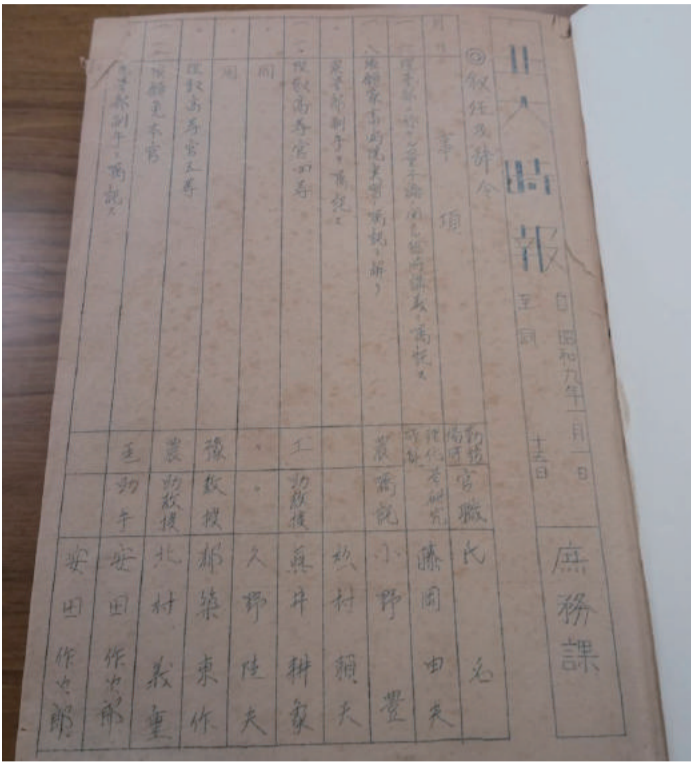
北大時報 学内広報誌としての役割を

北大時報は北海道大学内のイベントなどの情報を伝える学内教職員向けの広報誌である。発行は本学の総務企画部広報課が行っており、現在第768号まで作成されている。月に一度発

行しており、本学ホームページからも閲覧可能だ。内容は学内で行われたイベント情報や大学教職員に關連したニュースが主であり、これらの情報を学内で共有することを目的として発行されている。過去には各教職員に紙面の形で配布されていたが、1996年からウェブ上で公開を開始。現在はこちらに重点を置いている。紙面での発行数は現在約2000部で、希望する教職員や名誉教授らに配布されている。他の旧帝国大学や道内の他大学との間で学内広報誌をやり取りする機会も多い。

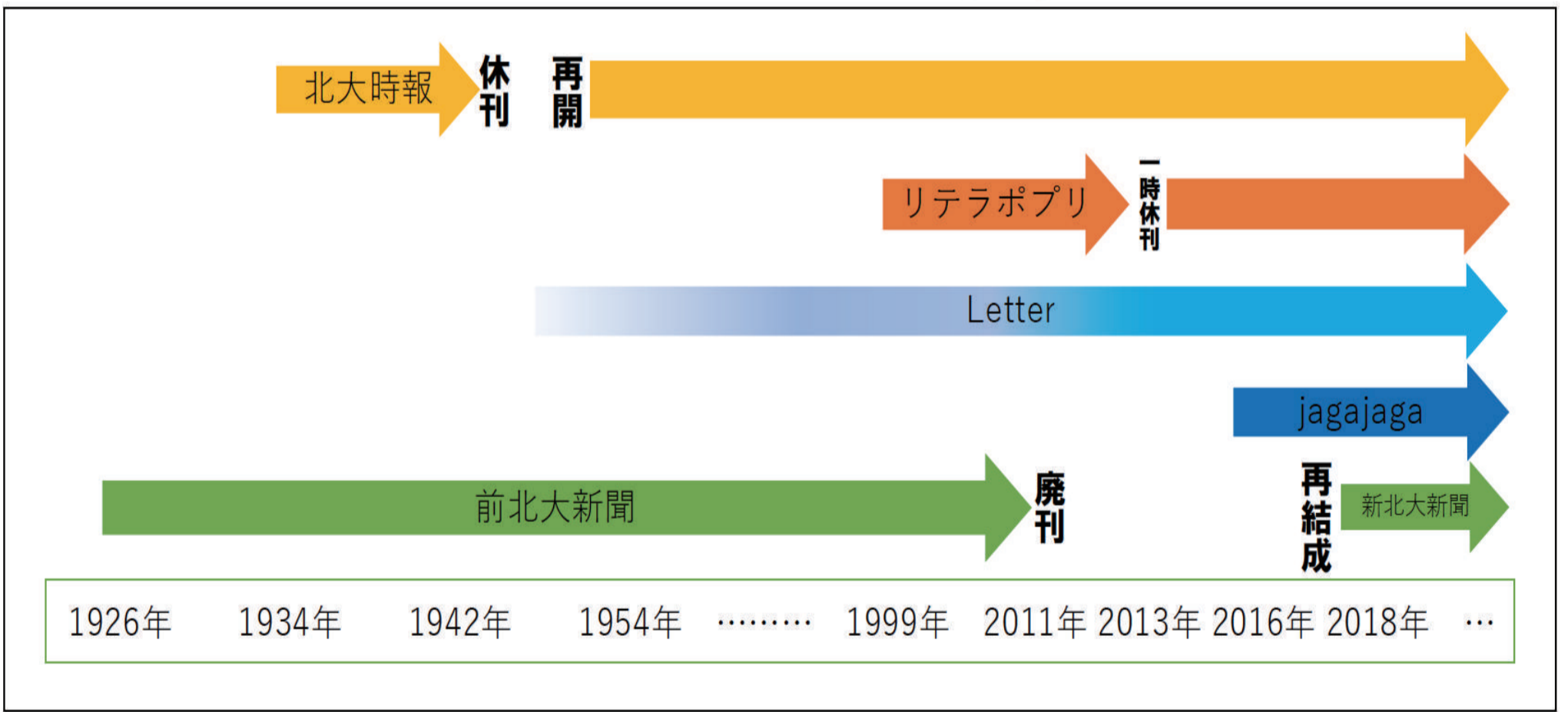
同誌は1934年に創刊された。当時は北海道帝国大学の広報誌として作られており、内容は事務伝達に限定されていた。1942年まで発行され続けたが、その後しばらく休刊。北海道帝国大学が北海道大学に改組した後、1954年5月に再開した。この際ナンバリングも改められ、これが現在の北大時報の第1号となった。その後内容の細分化や紙面のサイズ変更などを経て現在の形式に至る。同誌の今後について、北大時報を担当している広報課の武田朋子さんに話を聞いた。武田さんは、「掲載内容については精査されている。武田さんは、「掲載内容については精査されている。武田さんは、「掲載内容については精査されている。武田さんは、「掲載内容については精査されている。」と話す。今後も学内の情報共有のための媒体として継続していく見通しだ。

<特集> 3・4面 学内メディアの今昔



北大時報の第1号 手書きで伝達事項が記された

学内メディアの変遷



学外向け広報誌 リテラポプリ 紆余曲折を経て現在へ

リテラポプリは北海道大各方面の教職員が大きな負荷の研究・人材などを外部に発信するための広報誌である。発行は本学の総務企画部広報課が行っているが、記事作成は複数の部局の教職員から構成された「リテラポプリ企画編集チーム」による。1999年に創刊されてから、現在第60号まで作成されている。年2回発行しており、本学ホームページからも閲覧可能だ。

同誌が誕生したのは北海道大学が法人化する以前の1999年であった。そのため、現在と比べて大学の広報活動に対する意識が低く、学外向けの広報誌も存在しなかった。その中で学外に対する広報活動の必要性を訴える声が上がったことが、同誌の誕生する原動力となった。

創刊後しばらくの間は年4回の発行が行われていた。しかし2009年、学内の教育組織「北海道大学COSTEP」が同誌を教材として用いる運びになり、転機が訪れる。この動きは同組織の教育活動の一環であったが、広報活動を専門としない学生に企画・作成を行わせたため、その手助けに

Letter

学生メディアと広報誌のハイブリッド

学生生活に密着した生協広報誌

Letter は北大生協学生組織委員会 (G) が発行する学生向けフリーペーパーだ。同紙の編集は、新入生向け冊子『北大生の生活』の作成、共済活動などに代

同紙の前編集長・西岡尚樹さんによると、創刊の時期・経緯は記録が残っておらず不明だが発行回数は累計400回を超えており、複数ある生協の広報紙の中で最も歴史が長いという。

現在と同様の形式になったのは2011年。受験生・新入生向け活動の拡大によって人手が不足し、2010年には廃刊を求める声

Letter の現在の発行目的は大きく2つある。学生の生活に役立つ記事を発行することと生協の広報活動を行うことだ。休刊も含めて今後のあり方を毎年検討しつつ、発行目的の見直しを繰り返している。記事内

容には特に縛りを設けず、編集委員が必要だと思っても、伝えたいことを記事にしている。最近では、学生委員会の活動紹介や共済 PR

などの中にも学生委員会が発行しているアンケート調査により、Letter 読者のなかで、Letter が読者のなかで最も長い歴史を持つが、知名度の向上が課題だ。毎年行っているアンケート

記事も数多く掲載している。年3〜4回の発行であることから季節感を出すようにも心がけており、表紙のイラストも毎号異なる。随所に遊び心を散りばめることで親しみやすさも追求しているという。

課題は知名度の向上。同紙は生協広報誌として



(右) 直近1年間に発行されたLetterの表紙季節感もさることながら、毎回イラストが異なるのが特徴だ

jagajaga 北大生に新たなプラットフォームを

学生向けの双方向雑食メディア

jagajaga は2016年5月に誕生した学生向けWEBメディアだ。不定期に記事を更新している。同メディアの立ち上げは学生の活動に対する問題意識に起因する。立ち上げにあたった前編集長は、ピラ配りやポスター掲示が主流の新歓などの宣伝活動など



北海道が、いまアツイ。

jagajaga のWEBサイトに掲載されたイラスト (http://www.hu-jagajaga.com/aboutus より4月5日に引用)

く掲載し、知名度を一気に高めた。運営は同じく新興学生メディアである東大のUmei(ユーミート)や京大の360。(サンロクマル)を参考にした。学生の自主性を重んじ各自が自由に記事を書くとともに、あえて大学からの公認は申請しない。

jagajaga が対象としている読者はあくまで学生だ。北大生による北大生のためのプラットフォーム、WEBメディアだ。不定期に記事を更新している。同メディアの立ち上げは学生の活動に対する問題意識に起因する。立ち上げにあたった前編集長は、ピラ配りやポスター掲示が主流の新歓などの宣伝活動など

北大生協書籍部 売り上げランキング (3月) ※クラーク店と北部店の合計

Table with 2 columns: Rank (1-10) and Book Title/Author/Publisher. Includes titles like 'AI vs. 教科書が読めない子どもたち' and '反共感論'.

Table with 2 columns: Rank (1-5) and Book Title/Author/Publisher. Includes titles like 'ラプラスの魔女' and '武士道'.

Table with 2 columns: Rank (1-4) and Book Title/Author/Publisher. Includes titles like 'つながる脳科学' and '新聞記者'.

楽しみつつも真剣勝負 祭を作る責任感と誇りを胸に

部活・サークル紹介 ①

北大祭事務局

北大祭でオレンジのジャンパーを着た一団を見たことがあるだろうか。彼らが北大祭事務局(正式名称:北海道大学祭全学実行委員会)のスタッフであり、言わずと知れた北大祭の屋台骨だ。部活・サークル紹介第1回目は、北大祭事務局の素顔に迫る。

活動は4つの部署ごと

北大祭事務局は約200人のメンバーで構成され、北大祭全般に関わる活動を行う。活動は総務・企画・広報・渉外の4つの部署で分担されている。総務部で



昨年の北大祭終了後の集合写真(事務局提供)

基本データ

活動内容の概要: 大学祭の準備・運営、大学祭を良くする活動
活動理念: 学生主体・地域貢献・交流の場
人数: 約200人(1年目・2年目以降各100人前後)
活動頻度: 基本的に週2回(全体集会、続いて各部署での部会)

主力は2年生

他大学の大学祭実行委員会では3年生が活動の主体となるケースが主流だが、北大祭事務局は2年生(大学祭本番時の2年生)が主力だ。新入生は4月に入局したのち、まずは各部署に配属される。6月の祭本番までは2年生を中心とする(1年目(うわねんめ)の上級生のもとでそれぞれの仕事を担う。祭終了後、各部署での反省を経て、夏休みの合宿で上級生からノウハウ

多様性の中にも真面目、という共通項

北大祭事務局には多数のメンバーが集まり、出身地、学部・学年を問わず人が集まる。タテ・ヨコいずれに

の引き継ぎがなされる。秋にはいよいよ翌年に向けて役割が引き継がれ、新たな担当も決定されて各自が役割を持つ。役職は新2年生(この時点ではまだ1年生)が担い、早くも主力を担う。これと同時に現2年生は引退を迎える。冬から翌年の春休みにかけては各自に割り当てられた仕事を新2年生が中心となって行い、具体的な構想を練る。4月に新たなメンバーを迎えてからは6月の大学祭本番にかけて計画を形にしていく。集会の場で、これまでにならぬ企画が2年生主導で行われるなど、前向きな変化も起きやすい。このように2年生を中心とする若い主力の活躍が、活動理念の一つである学生主体の実現にも力を発揮するのだから。なお、事務局に残って活動を続ける上級生は各自の経験を生かして主力メンバーを支える。



部会の様子

発だ。局外との連携もさかに行われ、つながりには事欠かない。「遊ぶ相手に困らない(笑)」と戸島さん。活動を通じて北大祭のみならず、施設の名称など北大そのものの情報にも精通できる。

大学祭といえば華やかなイメージが先行しがちだが、局員のバックグラウンドは生徒会経験者をはじめ多岐にわたる。加えて、大規模ゆえに多様な人々が集まる一方、真面目に仕事をこなし、なおかつ祭を楽しむという共通項も見逃せない。活動にあたっては1人ひとりが事前に詳細を、祭終了後には総括と呼ばれる活動内容の概要をそれぞれまとめるが、総括は時には数万字にも及ぶ。誰が見てもその内容を理解できるようにするために、これらは推敲にかけられる。仕事量は多いが、学業との両立に悪影響はほとんど見られない。一人ひとりが大学祭の運営に携わる誇りと責任感を持ち、メリハリをつけながら活動を行っている。

北海道大学新聞

北大新聞復刊の ごあいさつ

編集部 代表

この度は、1年間という期間限定で北海道大学新聞(北大新聞)をオンラインで復刊させていただきます。この1年間の空白期が生じることになりましたが、昨年からは、可能なPDF版と記事ごとの皆様のお声もいただきながら、復刊を目指して検討を進めてまいりました。また、記事で扱う内容として、今年、オンラインという形で復刊することを決定いたしました。なお、2011年の廃刊まで本紙は北海道大学新聞会が発行していましたが、この度は北海道大学新聞編集部と名を改めて活動することとなりました。伝統ある北大新聞のDNAを受け継ぎつつも、本の中でも新たな一歩を踏み出すという願いも込めて団体名を変更することにいたしました。これからは、学生はもちろんだが、教職員・卒業生から受験生、地域の方々に至るまで、北大に関心をもち、お持ちのあらゆる方々に愛されるべき新聞の経験が決して豊富ではありません。試行錯誤を重ねることとはなりませんが、どうか温かい目で見守っていただけますよう、心よりお願い申し上げます。最後に、OB・OGの先輩方、取材に応じてくださった皆さま、本学広報課の皆さまをはじめ、北大新聞の復刊ならびに4月号の発行に向けてご協力いただいた全ての方々に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

しながら、インターネットアクセスできることなどの急速な普及や学生の新聞離れなどの影響を受け、2000年代に休刊、2011年にはついに廃刊にまで至りました。その後5年以内に對して柔軟に新たな形を模索していく必要もあると考え、全紙面を一挙に閲覧可能なPDF版と記事ごとのページを同時に掲載するなどの工夫もいたしました。記事で扱う内容として、今年、オンラインという形で復刊することを決定いたしました。なお、2011年の廃刊まで本紙は北海道大学新聞会が発行していましたが、この度は北海道大学新聞編集部と名を改めて活動することとなりました。伝統ある北大新聞のDNAを受け継ぎつつも、本の中でも新たな一歩を踏み出すという願いも込めて団体名を変更することにいたしました。これからは、学生はもちろんだが、教職員・卒業生から受験生、地域の方々に至るまで、北大に関心をもち、お持ちのあらゆる方々に愛されるべき新聞の経験が決して豊富ではありません。試行錯誤を重ねることとはなりませんが、どうか温かい目で見守っていただけますよう、心よりお願い申し上げます。最後に、OB・OGの先輩方、取材に応じてくださった皆さま、本学広報課の皆さまをはじめ、北大新聞の復刊ならびに4月号の発行に向けてご協力いただいた全ての方々に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

